

発行者／青森県中小企業家同友会 〒030-0931 青森市平新田字森越 12-28-2F
TEL/017(752)0171 FAX/017(752)0170 URL/http://aomori.doyu.jp/ E-mail/info@aomori.doyu.jp

八戸支部&女性部会6月合同例会

行こうよ、全国行事！2024

～ 女全交参加者の体験に聞く ～

(2024/6/25 参加 16名)

★★★ 感想文 ☆☆☆

今回「女性経営者全国交流会 in 大阪」参加者の報告を伺いました。まず大阪到着時から現地のメンバーの手厚い歓迎を受けた様子が大変印象的でした。

(株)ワイズスタイル代表取締役蔵田由貴美さんによる分科会の報告は、静岡のデザイン事務所である(有)サンディオスさんのものでした。会社の問題に実直に向き合い業務に励みながら、社内で社員ととことん話し合った上で一人ひとり違う個性を大切に、「人を生かす経営」が「理念」に沿うか否かと試行錯誤なさっていた姿に感銘を受けました。また、記念講演は認定NPO 法人 Homedoor の川口加奈さんによる、ホームレスの就労支援や生活支援についての内容でした。「ホームレス状態を生み出さない日本の社会構造をつくる」という理念や、「社会起業家」としての生き方を強く感じました。

皆さんの報告を聞き、楽しく学ばれたのだと率直に感じました。私も積極的に全国行事へ参加したいという気持ちが膨らんだ合同例会となりました。

記/ (有)八戸マイホームセンター

専務取締役 間山 健一 氏



青森支部6月例会

「第一線をはなれて、今」
～あなたは風の時代をどういきますか？～

◆報告者◆

(株)エーアイサイン (津軽支部)

会長 石澤 暁夫 氏

(2024/6/26 参加 36名)



★★★ 感想文 ☆☆☆

今回の報告は、「皆さん、がんばりは！」石澤氏のお決まりの挨拶から始まり、38年間の熱い想いを伺うことが出来ました。

石澤氏は24歳の時に創業し、本年5月に息子さんに事業継承し、現在は会長職として第二の人生を楽しんでいるところですが、今まで渋谷区センター街のバスケットストリートをはじめ、道の駅アップルヒル等、県内外数々のモニュメントやシンボルサインを手掛けてきました。また、個人ではコロナ禍を期に100通りの岩木山を描いた「岩木山百景」が有名ですが、ニューヨークの展覧会に出展したり、現在もアーティストとして精力的に活動したりしています。



私が今回の報告を聞いて一番感じた事は、「感性を大切にすること」です。景色や実物大の物を見ることで感性を高め、社員の顔色がわかる、ゴミが落ちている等、様々な気づきが生まれるということです。これからは多様性といわれる時代なので、色々な価値観をもった人と接する機会が増えると思いますが、決してその

価値観を否定するのではなく、お互いを認め合い、トップダウンではなくボトムアップの考えで、自分の立ち振る舞いに気をつけ、石澤氏が言っていた『人生を楽しく美しく生きる』をテーマに会社経営をしていきたいと思います。

記/ (株)渋谷組 取締役部長 鉄 信一 氏

上十三支部&共に生きるみらい委員会 6月合同例会 就労支援パネルディスカッション

(2024/6/27 参加 17名)



(一社)日々木の森
代表理事
立崎 文江 氏



(株)青北建設
代表取締役社長
附田 久志 氏



(社福)求道舎
おおばこ作業所
施設長
附田 賢治 氏

☆☆☆ 感想文 ☆☆☆

私たち企業側からすると少し縁遠く感じる障がい者の就労支援ですが、「彼らも労働人口です」と聞いてハッとしました。これから確実に人口が減っていく中で、「障がい者雇用？うちは難しいな〜」という考えは、ある種の奢りだったのかもしれない。仕事を細分化することで、頼めることもあるのではないかと考えるようになりました。また、自社で障がい者雇用を行うだけが就労支援ではないようです。にんにくの仕分けを就労支援事業所に依頼しているという(株)青北建設さんからは「彼らは違いなく仕事をこなしてくれるし、企業としてメリットがあるから依頼している」というお話を伺いました。福祉のイメージが強い障がい者就労支援ですが、企業側もその有用性を知れば適切に事業へ活用することができます。こうしたメリットが企業側に周知されれば、就労支援が当たり前になる世の中が来るのではないのでしょうか。これまで知らなかったことを学べて、視野を広げることができる同友会の例会。今後も積極的に参加していきたいと思います。

記/ (有)宮野燃料 取締役 宮野 茜 氏



下北支部7月例会

2024 納涼例会

(2024/7/17 参加 7名)

☆☆☆ 感想文 ☆☆☆

今回は下北支部の納涼例会という事で、食事をしながらの交流となり、普段よりも近い距離感でお話しが出来る有意義な会に参加させて頂き、非常に嬉しく思いました。

主なテーマとして「下北支部を盛り上げていく為に」という事を話し合いましたが、私が二年前からこの下北支部に参加して感じた事は「下北愛に溢れるユニークな支部」だという印象です。普段のグループ討論に限らず、下北ジオパークや釜臥山のアゲハ蝶を見に行くなど、下北の良い所を実際に体験し、広めていくという活動に感銘を受けました。私自身、体験した事を生かして下北の良さを広めていくと共に、仲間を増やしていける様、アピールしていきます。

この度は貴重で楽しい会合に参加させて頂き、ありがとうございました。

記/ (株)トヨタレンタリース青森 店長 泉澤 佑 氏



↑ 6/15 下北支部6月例会



↓ 6/18 津軽支部6月例会

参加者 19名



中小企業家同友会全国協議会

第56回 定時総会 in 宮城



2024年

7月4日(木) ▶ 5日(金) 仙台国際センター

創ろう豊かな未来を、育てよう21世紀型企業を

*** 参加者感想文 ***

(2024/7/4-5 青森同友会参加 19名)

▶ 六三社(株) 代表取締役 小笠原 忠六 氏

中同協定時総会に誘って頂き感謝しています。昨年の暮れから自分自身の体調の変化を感じながらの生活。職業訓練校卒業生に自社をアピールしても入社を辞退され、なかなか計画が進まない中で、第5分科会の「地域に人を残し、地域全体で人が育つ運動を」というテーマが今の自分には一番の学びになると思い参加しました。

「インターンシップの推進にあたっての基本的な考え方(3省合意)」が明文化されたものの現場では企業と学生/学校とのズレが生じているという内容の報告でした。このズレの本質は何かを考えたとき、ズレが生じて当たり前ではないかと思えました。それは、企業は利益を出し続けて存続することを目指し、学生はこれからの長い人生のやりがいを求め、そして学校はといえは設けられた予算の中で活動している団体であり、事なかれ主義だということです。これではズレが生じるのも無理はありません。それでも、同友会のメンバーは諦めずにそれを乗り越える努力をしている、自分はまだまだ本気になれていないなあとつくづく思いました。

▶ 地酒の駅 そうま屋米酒店 代表 相馬 康穂 氏

震災やパンデミックで 大打撃を受けた企業の再生について学ぶ

私は今回、熊本地震により大打撃を受け、どん底から這い上がった熊本同友会会員企業3社の取り組みについて学ばせて頂きました。

社員7名全員が退職してしまった農業資材販売業社長。震災前まで絶好調だった居酒屋チェーン社長。そして、保険代理店業の社長。それぞれお三方の苦悩の日々、更には同友会事務局員も退職された中での同友会活動の立て直し秘話等、想像を絶する熊本での出来事を学ぶ機会となり、衝撃的報告でした。

また、グループ討論では全国の「猛者」の会員さん達に囲まれ、タジタジでしたが、それぞれ異業種の参加者

とリスクマネジメントについて語り合い、アツという間の討論タイムでした。最後のコーディネーターのまとめもすばらしく、「事前の一策は、事後の百策に勝る！」という一言が心に染みる分科会となりました。

▶ (有)辻口商店 代表取締役 辻口 美香 氏

ダイバーシティ経営による伝統企業の改革

第7分科会のスズキハイテック(株)鈴木社長はとてもポジティブな考え方で、社員の雰囲気が大きく変化したそうです。ダイバーシティ経営のキーワードが何点かあり、中でも「ありのまま」「よりそう」という点がありました。高度外国人採用をし、彼らの価値を認める事。外国人を組織と日本人の会社に溶け込ませる。人材戦略として人材育成の方向性を明確化「理解と尊重と共有」に結び付けていました。また、失敗は「してもいい」ではなく「欠かせない」ともおっしゃいました。「何をやるかそれぞれ発信していく『自主性から主体性』へ」、「情熱と学習」→「決意と行動」、「共有共感共鳴共創」など、たくさん感銘を受けました。商品については“強みの転換”で他社がマネできない事をして希少価値、オンリーワンの技術の開発など、誰もやってない事への挑戦、社会に貢献出来る事への挑戦、成長し続ける事への挑戦、これらを通じて世界中の子供たちのために貢献する、と結ばれました。

素敵なお時間を本当にありがとうございました。



▶ ボディバランスケア amon 代表 小野 美保 氏

「自分の問題と知った責任」

この度二度目の参加ということで、初めて参加した昨年より心に余裕をもって視野を広げて聞いたり、グループ討論したりすることができました気がします。

私からすると皆さんが経営のプロフェッショナルに見えますが、誰もが良い事も辛い事も想像つかないような経験をたくさんされていて、その時どう乗り越えどう気付いたのか、そこには自己成長やビジョンや社員との関係性などをグループ討論しました。初めてお会いしたにも関わらず、熱く語り、未来のビジョンを話す時には皆さんが笑顔になってワクワクしていました。実りある学びと気づきがありました。持ち帰って早速取り組みました。

記念講演も衝撃的でした。認定 NPO 法人 Homedoor (ホームドア) の代表が 14 歳でホームレスの「おっちゃん」と出会ってから、15 年考え続けてやっと見つけた「働く意味」について聞きました。「死にきれず、もういっぺん生きてみよう」と相談しに来たホームレスの方が建物の中で食べたり寝たり、仕事をする喜びを再び感じ自立を目指します。代表者は『知ったからには知った責任がある。知ったからには何が出来るだろうか』という思いで始められたそうです。私に出来ることは微力の寄付ですが、感慨深いこの講演を聞いて学びました。『私も知った責任がある』目を背けているけど、私に出来る事をやっていきたいです。



↑ 7/11 青年部会総会 参加 31 名



↓ 7/12 青森支部 7 月ガイダンス 参加 15 名

7 月理事会報告 於:事務局 2024.7.2(火)

1) 年度方針の確認

- 青森同友会 2024 年度重点活動方針
- 青森同友会 3 カ年ビジョン (2023~2025)

2) 報告事項

- 青森同友会の各支部・全県事業と全国行事について

① 各支部の動き

② 全県の動き

③ 全国行事の動き (2024 年度)

④ 第 56 回 中同協総会

- 経営指針を創る会について

- 3ヶ月先行管理導入準備について

- 第 23 回 障害者問題全国交流会 in 青森に向けて

- 同友会パンフレットの改定と更新について

3) 審議・確認事項

- 東北ブロック青年経営者フォーラムについて

- 全国行事キャラバンについて

- 講師派遣依頼について

- 支部例会参加費無料化に伴うゲスト対応について

- 第 23 回 経営研究集会について

- 2024 年度 会勢目標について

- 各支部、委員会からの報告

会員数 413 名 / 入会 1 社 退会 3 社

【次回開催日】2024 年 8 月 6 日 (火) 13:30~/事務局

↓ 6/26 一般社員研修会 参加 15 名

